

二ツ屋病院 転院患者復帰

4週間新規感染なく「終息」

クラスターを追う

書面によると、「五月二十八日に一名の感染者が確認されて以降、四週間で経過した六月二十五日まで、新たな感染者が認められないう状況となりました」と説明。転院した患者数や病院に戻る人数などについては明らかになっていない。

二ツ屋病院では感染者が初めて確認された四月十九日以降、患者や看護師、介護士、同居家族の計八十六人が感染し、うち二十一人が死亡した。死者はいずれも高齢の患者。県は六月五日に入院患者一人の感染を公表したが、他の医療機関で治療を受けているとしていた。

西村院長は書面で、協力した医療機関の関係者や医療物資などの提供者に謝意を示し、「今後は全職員が『感染をもらわない、広げない』という強い意志を持って、より一層の院内感染防止対策に努め、第二波に備えて万全を期していく」とした。(島崎勝弘)

石川県内の感染状況

感染者	300人(±0)	0)
治療中	22人(±1)	0)
うち重症者	1人(±0)	0)
ホテルで療養中	0人(±0)	0)
退院者	251人(±1)	0)
死者	27人(±0)	0)
PCR検査	2,892件(±9)	9)

※26日午後5時現在。かっこ内は前日比

県内4日連続ゼロ
石川県は二十六日、新型コロナウイルスの新たな感染者は確認されなかったと発表した。新規感染者ゼロは四日連続。新たに一人が退院し、治療中の患者数は二十一人に減った。PCR検査は正午までに九件行い、全て陰性だった。

辻和美さんコラム
金沢卯辰山工芸工房の元専門員でガラス作家の辻和美さんが書くコラムを夕刊「紙つぶて」欄のほか、地域版でも掲載します。

相手でも相談できる人がいると知って
高齢者へ生活用品を配達しながら見守りサービスを始め白山市社会福祉協議会の長谷川涼実さん=17面
2020.6.27

全7病院「統廃合不要」

公的病院再編 県、厚労省に回答

厚生労働省が再編、統合の議論を促すために昨秋公表した全国の公立・公的病院のリストに掲載された石川県内の七病院について、県は「統廃合や現在の病床の削減は行わない」と厚労省に報告した。高齢化で膨らむ医療費を抑制する狙いで公表されたが、身近な病院がなくなることへの不安などが地元住民から上がった。

七病院は、地域医療機能推進機構金沢(金沢市)、国家公務員共済組合連合会北陸(同)、公立つるぎ(白山市)、能美市立、津幡町国民健康保険直営河北中央、町立宝達志水、志賀町立富来の各病院。

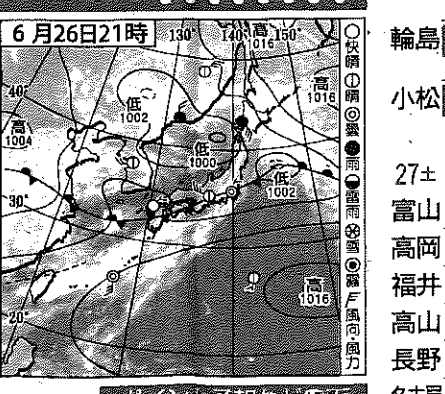
七病院が自主的に検討し、統合や病床削減は行わないと判断。医療関係者でつくる県の地域医療構想調整会議もそれぞれの判断を

第61期王位戦特集 ⑤面 「いちいち特報部」は休みました

妥当と結論づけ、三月に厚労省に報告した。二十四日の県議会予算委員会でも佐藤正幸議員(共産)の質問に県側が明かした。

新型コロナウイルス感染症に伴い、リストが公表された昨年九月と現在では病院を取り巻く状況が変わっている。県地域医療推進室の担当者は「県全体の計画である地域医療構想を進める上で、コロナ対策を踏まえて病床の機能を確保する必要がある」とも強調した。

石川の天気予報



中日春秋

毎年、雨の季節に合わせるように、色とりどりの大輪をつけて、重くながちな気分をなぐさめてくれる。ありがたい花木なのかもしれないと今年の梅雨はとくに、思えてくる。アジサイの詩が高田敏子さんにある。あじさいは雨にぬれて、悲しみを洗っている。悲しみを洗いながら美しく色を変えていく。「あじさいの花」。悲しみも、思つにまかせないことも多くあったこの夏、花をながめれば、元気づけられるよつでもある。この週末をはじめ、開かれるはずだったあじさい祭りなどが、中止になってしまった名所も多いようだ。美しく色を変えていくさまを、屏越しの近所の庭に、あるいは道ばたに、見ても多いだろう。

涼しげな青、温かみのある赤に、微妙な鮮やかさの変化もある色の違いは、土壌の酸性、アルカリ性の度合いに関係があるという。酸性ならば、土中のアルミニウムイオンが溶けて、吸収した花は青を帯びる。根元に一円玉を埋めると花は青くなるという説を聞くが、もの本によれば疑わしいそうだ。色の移ろいから「あじさい」には心変わりしやすい人の意味もあった。当世ならばむしろ、多様性の花のようでも好ましくも思える。褐色になっても枯れてしまったように見えながら、きれいな薄い緑やピンクを、また取り戻すものがある。どこか人生のうつろいを思わせるようだ。

2020.6.27

読者発 情報提供は報道部へ 電話 076(233)4613 Eメール hokuchu@chunichi.co.jp

最新刊
心と体がらくになる
46のセルフマネジメ

起ころない
不整脈(期外収縮・心臓脈の乱れ)が無くなつた
監修 医学博士 島崎康二 定価13

再発・転移の不安からも解放
がん細胞を
徐々に消してい
ために患者が
医師 前山和

受け師の
百折不撓の棋士
最年長、最遅、最多挑戦回数のおじさん
星と騒がれた木村王位。順調でなく
たその将棋人生を、弊紙「盤記者」が丹

改裝版 人間学のすすめ「恕安」
「多目に見る」思いやる「慈しみ」という
シリーズ累計11万部 だるまの陰陽五行
「五臓六腑」カラダの中は小さ
五臓：肝・心・脾・肺・腎 五腑：胆・小
五臓研究会主宰/内科医師 堀内信隆

THE BEATLES
BOB DYLAN
ELVIS PRESLEY
彼らを書く
片岡義男